船舶事故等調査報告書

平成２７年７月２３日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	２０１５広第３８号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成２７年２月９日　０５時５９分ごろ
発生場所	香川県丸亀市本島南岸 牛島灯標から真方位２８４°　１，３５０ｍ付近 （概位　北緯３４°　２２．１８′　東経１３３°　４５．９３′）
事故等調査の経過	平成２７年３月２３日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	 砂利運搬船　第五住福丸、４９８トン １３０５９２、阿波海運有限会社
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	船首部船底に擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか３人が乗り組み、船長が、単独の船橋当直につき、椅子に腰を掛け、自動操舵で南備讃瀬戸大橋東方沖を約８ノットの速力で西進した。 本船は、本島南東方沖の南備讃瀬戸大橋を通過後、船長が居眠りに陥り、変針予定場所を通過し、平成２７年２月９日０５時５９分ごろ本島南岸に乗り揚げた。 船長は、乗揚の衝撃で目覚め、機関を停止し、乗組員全員が昇橋してきたので、浸水及び燃料油流出の有無を確認させた。 機関長は、海上保安庁へ１１８番通報した。 本船は、潮位の上昇を待って自力で離礁し、香川県坂出市坂出港に入港した。
気象・海象	気象：天気　晴れ、風向　北西、風力　２、視界　良好 海象：海上　平穏、潮汐　下げ潮の中央期、潮高　約９８㎝（坂出） 日出時刻：０６時５６分ごろ
その他の事項	本船は、本事故時、空船であり、喫水が船首約０．８ｍ、船尾約２．７ｍであった。 船長は、本島南東方沖を航行中、周囲に他船を見掛けなかった。 本船は、赤外線式の船橋航海当直警報装置を作動させており、５分又は１０分の設定にしていたが、乗り揚げるまでに警報は鳴らなかった。
分析 乗組員等の関与	 あり

船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	なし なし 　本船は、本島南東方沖を自動操舵により西進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったことから、変針予定場所を通過し、本島南岸に乗り揚げたものと考えられる。 　船長は、周囲に他船を見掛けなかったので、気が緩み、椅子に腰を掛けた姿勢で船橋当直を続けたことから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、本島南東方沖を自動操舵により西進中、単独で船橋当直中の船長が居眠りに陥ったため、変針予定場所を通過し、本島南岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・単独で船橋当直中に眠気を感じた場合には、椅子から立ち上がって身体を動かしたり、窓を開放して外気に当たったりするなど、居眠りを防止する措置をとること。